

コウノトリと共にがんばる

栗田 美紀さん
(庄境)
(平成8年生まれ)



私は初めての年女を迎えました。今までにコウノトリの放鳥や自然学校など、さまざまな体験をしてきました。ですが私自身、つらい思いをした「台風23号」が忘れられません。でも、そんな時、コウノトリは大空をはばたき、元気をくれました。今年4月からは、最高学年の6年生になります。コウノトリへの感謝の気持ちを忘れずに、いろいろなことにチャレンジし、笑顔で毎日を送れるようにがんばりたいです。

一歩ずつ前へ素敵な大人に

福田 和弘さん
(出石町福居)
(昭和59年生まれ)



私も気付けばもう24歳です。就職して3年目を迎える年になり、2年間でいろんな経験や出会いなどをしてきました。しかし、まだまだ分からないことや知らないことがたくさんあり、先輩に迷惑をかけてばかりで情けなく思います。今年は下を向かず前を向いてたくさんの方に挑戦していき、一人前になれるように一歩ずつ頑張りたいです。また、仕事だけではなく人としてもいろんな経験や出会いを通して、素敵な大人に成長したいです。

謹賀新年

今年の子年。年男・年女の方々を代表して、10の方に抱負を語っていただきました。皆さんにとって良い年になりますように...

支えられていることへの感謝

野口 理恵さん
(日高町道場)
(昭和59年生まれ)



2回目の年女を迎えました。昨年は就職のために豊岡に戻り、自分の中で想像もつかなかった未来でしかなかった社会人という立場に立ち、日々奮闘しています。社会人になり日々に支えられているということを特に感じるようになりました。友達や職場の方、家族などたくさんの方に支えられていることを忘れず、感謝の気持ちを持ち続けていきたいです。また、今まで以上にさまざまなことにチャレンジし、充実した1年になりたいです。

素敵な肝っ玉母さんを目指して

南 久美さん
(戸牧)
(昭和47年生まれ)



私は5歳、2歳、3カ月の子どもを持つ専業主婦です。ただいま子育て大奮闘中。私は日々子どもの言うことに本気で腹を立てたり、他の子どもたちとわが子を比べ焦ったり、落ち込んだり、口うるさかったりと毎日3人の寝顔を見ては、「なんて器の小さな母親なんだろう」と反省の日々です。今年こそは、心にゆとりを持ち、大きな器で3人の宝物たちの成長を育てていきたいです。目指すは、素敵な肝っ玉母さん!!

反省して一日一日を大切に

大田和 弘朗さん
(但東町薬王寺)
(昭和47年生まれ)



豊岡に戻り、丸5年が経ちました。これまでを振り返ると本当にいろんなことがありましたが、多くの方に支えられて何とかやって来ました。新年を迎え、特に新たなチャレンジというわけではなく、これまで歩んできた道において足りなかったことを反省し、職場や地域などの周りの方への感謝と謙虚な気持ちを忘れず、さらに発展していけるように一日一日を大切に歩いていきたいと思っています。

元気に踊りに励みたい

三谷 朋子さん
(出石町福住)
(昭和11年生まれ)



まだ若いと思っていましたがはや70歳を過ぎてしまいました。今までいろいろありましたが、自動車の免許を取得して主人の仕事を手伝い、高い所が上がったり穴の中に入ったりと男性並みの仕事をしてきました。また、夜には踊りを習いに行き、平成2年に踊りの免許を取得しました。今でも毎週高砂まで自動車で踊りを習いに行き、お弟子さんに教えています。今年も孫やひ孫に振り回されながら元気に踊りに励みたいと思います。

豊岡鞆の発展のために

古川 一己さん
(塩津町)
(大正13年生まれ)



交通事故が頻繁に起こるころですが、もっとルールを守り慎重に運転をしてほしいと思っています。私は2年前に心筋梗塞になり医学の進歩でカテーテル治療をしてもらい元気になりました。今では毎日30分程度歩いています。家では50年前から鞆の仕事をしており、伝統ある豊岡鞆の発展のためにも元気に頑張っ続けていきたいと思っています。今年こそ良い年になりますようにお祈りします。

余生は自然と共生して

田中 眞雄さん
(日高町万場)
(昭和23年生まれ)



5回目の年男！団魂世代と呼ばれ、仕事の面では一線から身を引く団魂の世代の一人です。地球上には1千万種の生物がいるといわれています。その中の1種66億の人類が自然界からいただいた恵みを食いつぶし、大量の生活ごみを出しながら生きています。その一人が私です。この物質至上主義の中、自然界に感謝の念を忘れず、後の余生を身近な但馬の自然と共生しながら次の世代に渡していきたいです。

2008年 子年



健康が一番！温泉でほっこり

長谷川 美由紀さん
(城崎町湯島)
(昭和35年生まれ)



もう結婚して23年にもなり、子どもも3人いて、大学4年生、専門学校生、高校生で、私も家の商売、家事と体の休む間がないくらい忙しい毎日です。そんな時、夜寝る前に城崎温泉に入ると一日の疲れが取れ、幸せを感じ、ふと健康が一番だなあと感じています。また、今の自分があるのも家族の支えがあったからだと思っています。家族に感謝するとともに城崎を訪れる方々を温かくお迎えし、頑張りたいと思います。

多くを学び自分を磨いて

定元 末広さん
(竹野町御又)
(昭和35年生まれ)



早いもので4回目の子年を迎えました。前回の子年は大阪で遅くまで仕事をする毎日でしたが、待望の長男が生まれ大喜びしたのを思い出します。今回は50歳を前にしての年男です。公私共に責任も大きくなり人間的な成長も求められます。とは言っても平凡な私に変身するのはなかなか難しいことです。今年を新たなスタートの年として、多くを学び自分を磨いて、次の子年(定年)に向かって日々頑張りたいと思います。